

手話サークル 竹の子



手話を通して
伝わる喜びを広げたい



土岐手話サークル竹の子は、一人のろう者と一人の健聴者によって、昭和49年9月に岐阜県で2番目に設立されました。その時から現在まで、手話サークルの目的である「サークル活動を通じて、ろう者への理解を深めるとともに、より多くの人々へ広め、ろう者の良き仲間として、差別のない社会を築く」ための活動を続けています。生活する上で必要な病院、職場、学校などの場所をはじめ、選挙期間中の立会演説会や地域での行事など、さまざまな機会を通じて手話通訳を行っています。また、学校や放課後教室などで手話教室の講師も担当し、広く市民へ手話や聞こえない障害について啓蒙活動も行っています。

学習会

昼の部 毎週金曜日 午前10時30分

泉公民館

夜の部 毎週木曜日 午後7時30分

セラトピア土岐

連絡先 ☎5264(事務局 佐藤さん)

ろう者と共に楽しい社会へ

手話を学べば学ぶほどその魅力を感じています。そして、ろう者の表現の豊かさ、私もあんなふうに自分の思いを顔・体・手から言葉を伝えたいと思っています。まだまだ道のりは長いですが、ろう者と共に楽しい社会、ろう者の身近な存在になれるよう手話の勉強を続けたいと思います。



小嶋泰代さん

きっかけは息子の難聴

私が手話を始めたきっかけは、息子が難聴で生まれてきたからです。「手話」という言葉は知っていましたが、サークルに入ってその奥深さに難しさ、面白さ、楽しさを感じています。今後も楽しみながら学んでいきたいと思っています。



田口眞理さん